2027年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年７月29日

上場会社名　株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート　上場取引所　東
コード番号　3850　ＵＲＬ　http://www.intra-mart.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）中山義人
問合せ先責任者　（役職名）取締役　管理本部長　（氏名）鈴木誠　ＴＥＬ　03-5549-2823
配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第１四半期の連結業績（2026年４月１日～2026年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年３月期第１四半期	3,774	14.1	384	29.4	397	29.4	307	46.5
2026年３月期第１四半期	3,307	24.1	296	－	307	－	209	－

（注）包括利益　2027年３月期第１四半期　307百万円（46.9％）　2026年３月期第１四半期　209百万円（－％）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期第１四半期	63.08	－
2026年３月期第１四半期	43.09	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年３月期第１四半期	11,071	5,863	53.0
2026年３月期	10,996	5,877	53.4

（参考）自己資本　2027年３月期第１四半期　5,863百万円　2026年３月期　5,877百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	66.00	66.00
2027年３月期	－				
2027年３月期（予想）		0.00	－	75.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	14,500	△1.1	1,450	5.0	1,486	5.0	1,040	13.7	213.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）　　　　　　　　、除外　－社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　　　　　　　　　：無

③　会計上の見積りの変更　　　　　　　　　　　：無

④　修正再表示　　　　　　　　　　　　　　　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期１Ｑ	4,955,000株	2026年３月期	4,955,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期１Ｑ	94,037株	2026年３月期	83,417株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年３月期１Ｑ	4,868,082株	2026年３月期１Ｑ	4,866,354株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結貸借対照表に関する注記） …… 7
（四半期連結損益及び包括利益計算書に関する注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第1四半期における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、物価上昇による影響がみられるものの、緩やかな回復基調で推移しました。国際情勢においては、中国経済の先行き懸念や中東情勢を巡る不確実性、エネルギー価格動向への懸念などを背景に、世界経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開する情報サービス産業におきましては、企業のDX推進や生産性向上へのニーズを背景に、IT投資需要は底堅く推移しております。

このような情勢のもと、当社グループは「①カスタマーサクセスを起点としたビジネスモデルの強化」「②AIを活用した収益性の高いビジネス構造の確立」「③社員の成長と社会的信頼を生む企業ブランドの醸成」を重点方針として掲げ、業績の向上に努めてまいりました。

具体的には「①カスタマーサクセスを起点としたビジネスモデルの強化」においては、パナソニックグループ13万人が利用するワークフロー基盤の刷新に「intra-mart」が採用されるなど、お客様の業務変革や内製化推進を支援し、継続的な価値提供に取り組みました。特に、大規模環境における運用性や拡張性を評価いただくとともに、AI活用を見据えた業務基盤の整備を支援することで、お客様の生産性向上や業務プロセス改革の実現に貢献いたしました。

「②AIを活用した収益性の高いビジネス構造の確立」においては、「Accel-Mart Plus」のクラウドネイティブ基盤への刷新を発表し、高可用性や柔軟なスケーリング、迅速な環境提供などを実現することで、サービス品質及び提供価値の向上を推進いたしました。また、今後の生成AI活用を見据えた基盤整備を進めることで、継続的なサービス競争力の強化に取り組みました。さらに、「intra-mart Procurement Cloud」と「モノタロウ PunchOut」とのシステム連携を開始し、調達・購買領域における業務効率化とガバナンス強化を両立するソリューションの提供を実現するなど、業種・業務ソリューションの拡充による顧客価値の向上に取り組みました。

「③社員の成長と社会的信頼を生む企業ブランドの醸成」においては、女性活躍推進に関する取組が評価され、厚生労働大臣より「えるぼし認定（2つ星）」を取得いたしました。これは女性が能力を発揮し活躍できる職場環境の整備が進んでいることを示すものであり、企業価値の向上に加え、採用競争力の強化や公共調達における評価向上にもつながるものと考えております。今後も性別を問わず従業員一人ひとりが最大限に能力を発揮できるよう、働きやすい環境及び各種制度の充実に継続して取り組んでまいります。

この結果、当社グループの2027年３月期第１四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高3,774,708千円（前年同四半期比14.1％増）、営業利益384,210千円（前年同四半期比29.4％増）、経常利益397,711千円（前年同四半期比29.4％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益307,065千円（前年同四半期比46.5％増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

①ソフトウェア事業

ソフトウェア事業におきましては、サブスクリプション型ライセンスの新規受注が堅調に推移しました。また、売切りライセンスの保守サービスにおいては、既存顧客との契約関係が維持され、当期業績に寄与いたしました。

この結果、売上高は1,621,362千円（前年同四半期比9.0％増）となりました。

②サービス事業

「intra-mart」を利用したシステム開発やコンサルティングなどの周辺サービスは、既存顧客との関係深化を背景に、継続案件の拡張や追加受注が着実に進展いたしました。主要顧客を中心に受注活動は引き続き好調に推移し、売上は堅調に拡大いたしました。

この結果、売上高は2,153,345千円（前年同四半期比18.3％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産

当第１四半期連結会計期間末における資産は、11,071,370千円となり、前連結会計年度末に比べ75,319千円、0.7%増加となりました。

②負債

当第１四半期連結会計期間末における負債は、買掛金が減少したものの、契約負債が増加した結果、5,207,975千円となり、前連結会計年度末に比べ89,223千円、1.7%増加となりました。

③純資産

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、5,863,395千円となり、前連結会計年度末に比べ13,904千円、0.2%減少となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年５月８日の『2026年３月期 決算短信』で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,336,373	4,516,913
売掛金	3,297,109	960,575
契約資産	908,996	824,374
棚卸資産	7,572	7,519
その他	556,959	839,485
流動資産合計	7,107,011	7,148,868
固定資産		
有形固定資産		
建物	364,068	364,068
減価償却累計額	△152,871	△158,973
建物（純額）	211,196	205,094
工具、器具及び備品	164,752	167,257
減価償却累計額	△119,284	△122,377
工具、器具及び備品（純額）	45,467	44,879
有形固定資産合計	256,664	249,973
無形固定資産		
ソフトウエア	1,725,960	2,043,013
ソフトウエア仮勘定	645,356	383,121
のれん	158,319	138,999
その他	72	72
無形固定資産合計	2,529,708	2,565,207
投資その他の資産		
投資有価証券	184,007	192,736
敷金及び保証金	312,597	313,472
長期前払費用	100,960	94,848
退職給付に係る資産	1,644	1,644
繰延税金資産	503,457	504,619
投資その他の資産合計	1,102,667	1,107,321
固定資産合計	3,889,040	3,922,502
資産合計	10,996,051	11,071,370

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,200,265	586,014
未払金	225,721	261,948
未払法人税等	359,988	130,119
未払消費税等	243,452	103,248
契約負債	1,744,562	2,859,594
賞与引当金	276,524	110,456
その他	126,082	184,292
流動負債合計	4,176,598	4,235,675
固定負債		
退職給付に係る負債	826,297	856,197
資産除去債務	115,856	116,102
固定負債合計	942,154	972,300
負債合計	5,118,752	5,207,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	738,756	738,756
資本剰余金	670,372	670,372
利益剰余金	4,743,640	4,729,181
自己株式	△299,912	△299,912
株主資本合計	5,852,856	5,838,397
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	32,022	32,374
その他有価証券評価差額金	635	837
退職給付に係る調整累計額	△8,215	△8,215
その他の包括利益累計額合計	24,442	24,997
純資産合計	5,877,299	5,863,395
負債純資産合計	10,996,051	11,071,370

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
売上高	3,307,172	3,774,708
売上原価	1,987,960	2,288,751
売上総利益	1,319,211	1,485,957
販売費及び一般管理費	1,022,249	1,101,747
営業利益	296,962	384,210
営業外収益		
受取利息	598	401
受取配当金	4,544	3,450
持分法による投資利益	6,217	8,619
助成金収入	4,725	－
その他	467	1,286
営業外収益合計	16,552	13,756
営業外費用		
投資有価証券売却損	6,028	－
為替差損	217	255
営業外費用合計	6,246	255
経常利益	307,268	397,711
特別利益		
投資有価証券売却益	－	35,999
特別利益合計	－	35,999
税金等調整前四半期純利益	307,268	433,711
法人税等	97,600	126,645
四半期純利益	209,668	307,065
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益	209,668	307,065
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△608	352
その他有価証券評価差額金	277	201
その他の包括利益合計	△330	554
四半期包括利益	209,337	307,620
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	209,337	307,620

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結貸借対照表に関する注記）

※　棚卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年６月30日)
商品	7,572千円	7,519千円

（四半期連結損益及び包括利益計算書に関する注記）

※　販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
従業員給与手当	391,918千円	443,069千円
業務委託費	180,789	180,273

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
減価償却費	241,044千円	238,502千円
のれんの償却額	19,320	19,320

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	ソフトウェア事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,487,145	1,820,026	3,307,172
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,412	227	2,640
計	1,489,558	1,820,254	3,309,812
セグメント利益	420,281	226,050	646,332

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	646,332
セグメント間取引消去	△12,917
全社費用（注）	△336,452
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	296,962

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2026年４月１日　至　2026年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	ソフトウェア事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,621,362	2,153,345	3,774,708
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,422	3,985	5,407
計	1,622,785	2,157,330	3,780,116
セグメント利益	496,265	292,200	788,465

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	788,465
セグメント間取引消去	△16,141
全社費用（注）	△388,113
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	384,210

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。